

# 全農の「田んぼの生きもの調査」活動について

～生きものもごはんも田んぼのめぐみ～



# ①食、農、環境と「生きもの調査」にかかわる小史

年	月	日	実施主体等	出来事
1956	昭和31年	7	19	コウノトリが特別天然記念物の指定を受ける。この年、コウノトリは20羽に減少。
1962	昭和37年 62年前		レイチェル・カーソン	「沈黙の春」出版(和訳1964年、新潮社)
1969	昭和44年	1	石牟礼道子	「苦海浄土 わが水俣病」出版(講談社)
1971	昭和46年 53	5	25	コウノトリ 市内で傷ついて衰弱していた最後の野生コウノトリが保護されたが死亡。日本の空からコウノトリは姿を消し <b>野生コウノトリ絶滅</b> 。
1975	昭和50年	4	有吉佐和子	「複合汚染」上巻出版 同7月下巻出版(新潮社)
1978	昭和53年 46		宇根豊	福岡県で <b>「減農薬稲作運動」</b> 始まる。
1981	昭和56年 43	1		最後の野生トキ5羽を一斉捕獲。日本の空からいなくなり <b>野生トキ絶滅</b> 。
1983	昭和58年 41		愛媛県今治市 JA今治立花	<b>鳥生(とりう)小学校に自校式調理場が建設され、有機農産物の学校給食への導入が開始</b>
1984	昭和59年 40		宇根豊	「筑紫野市の福岡政昭さんによって、 <b>虫見板の原型を発明され、私がそれを木製の薄い板に変えて、「虫見板」と名づけた</b> 」(「うねゆたかの田んぼの絵本②田んぼの動物」農文協)
1987	昭和62年	2	15	宇根豊 「減農薬のイネづくりー農薬をかけて虫をふやしていないか」(農文協)



# ①食、農、環境と「生きもの調査」にかかわる小史



1988	昭和63年 36		喜多方市	稲作体験学習開始(加納小学校)
1989	昭和64年 35		福島県熱塩加納村 (現喜多方市)	自村有機低農薬米給食開始(熱塩小、加納小) 同7月、加納小に有機野菜の供給開始
		6	国連	環境と開発に関する国際連合会議(地球サミット)開催、「生物多様性条約」「気候変動枠組条約」採択
2001	平成13年 23	4	農と自然の研究所	農と自然の研究所(宇根豊代表)「めぐみ台帳・生きもの目録づくり」提案、「田んぼの生きもの調査」が始まる。
			全農、首都圏 コープ	JAささかみ(新潟県)など7産地で「田んぼ交流生きもの観察」が初めて実施される
2003	平成15年 21	3	全農、首都圏 コープ	同上4産地で実施。「首都圏田んぼ祭り」開催。環境への取り組みなど発表。
			コウノトリ育むお米	豊岡市で、「コウノトリ育むお米」の栽培が始まる。(0.7ヘクタール)
		10	トキ	日本産最後のトキ「キン」が死亡



# ①食、農、環境と「生きもの調査」にかかわる小史



2004	平成16年			全農、首都圏コープ	観察会を発展させた「生きもの調査」として4産地(大潟村産地会議、JAささかみ、JAみどりの、ちば緑耕舎)で実施。イトミミズ、ユスリカ調査など。NPO法人めだかの学校「生きもの調査隊」、NPO法人田んぼ(岩渕成紀代表)の指導。
		12		首都圏コープ	新農業委員会フィールドワーク「生きもの調査」in宮城開催。稲葉光國氏、岩渕成紀氏講演。イトミミズ・ユスリカを指標として、田んぼの生態系を評価する手法が提唱される。
2005	平成17年 19	3		全農、首都圏コープほか	<b>第1回「田んぼの生きもの調査 研修会・シンポジウム」開催</b> (JA全中大会議室)
				福岡県	『県民と育む「農の恵み」モデル事業』開始(3年間)され、「生きもの調査」が要件となる初めての環境直接支払い。
		4	1	全農、首都圏コープ生活クラブ生協ほか	<b>「田んぼの生きもの調査プロジェクト」発足。</b>
		6	17	農林水産省	<b>食育基本法成立</b> 国民運動として、食育の推進に取り組んでいくことが、我々に課せられている課題...
		9	24	豊岡市	<b>コウノトリ放鳥(5羽)</b>
		11		大崎市	<b>「蕪栗沼とその周辺水田」ラムサール条約登録</b> 田んぼが生きもの(鳥)にとって重要な湿地と認定される
2006	平成18年	2	1	全農	経営理念にもとづく環境SR(社会的責任)活動として、総合企画部内にSR推進事務局を設置、大消費地販売推進部から「田んぼの生きもの調査」活動移管



# ①食、農、環境と「生きもの調査」にかかわる小史

2006	平成18年 18	7	17	田んぼの生きもの調査プロジェクト	第1回「日韓生きもの調査交流」(供城ブルム生協)
		11	26	喜多方市	国の構造改革特別区域として内閣総理大臣より喜多方市小学校農業教育特区の認定を受け、 <b>小学校に全国初の教科としての「喜多方市小学校農業科」を設置</b>
2007	平成19年 17	4		農林水産省	<b>農林水産省「農地・水・環境保全向上対策」開始</b>
		7		農林水産省	農林水産省生物多様性戦略策定
2008	平成20年 16	2	1	全農	広報部にSR推進事務局を移管、広報SR課とする。
		2	2	田んぼの生きもの調査プロジェクト	第4回「田んぼの生きもの調査シンポジウム」開催(JAホール)、300名参加。記念講演:山下惣一(農民作家)
		6			<b>生物多様性基本法成立</b>
		9		豊岡市	<b>市内学校給食に「コウトリ育むお米」使用開始</b>
		9	25		<b>トキ放鳥(10羽)。27年ぶりに佐渡の空を舞う。</b>
		11			ラムサール条約締約国会議(COP10)で「水田決議」採択
		11	10	農と自然の研究所ほか	桐谷圭治編「田んぼの生きもの全種リストと指標化候補」(農と自然の研究所、生物多様性農業支援センター)一次案約4,700種をリストアップ



# ①食、農、環境と「生きもの調査」にかかわる小史



2010	平成22年 <u>14</u>	3	13	農と自然の研究所 ほか	桐谷圭治編「改訂版 田んぼの生きもの全種リスト」(農と自然の研究所、生物多 様性農業支援センター)出版。種数5,668種。
		7	2	豊岡市ほか	第1回生物の多様性を育む農業国際会議(ICEBA)開催(7/2-4)
		10		愛知県名古屋市	生物多様性条約第10回締約国会議(CBD COP-10)が日本で開催、「水田決議」を “歓迎”
2011	平成23年			国連食糧農業機関 (FAO)	「能登の里山里海」、「トキと共生する佐渡の里山」が世界農業遺産(GIAHS)登録
2012	平成24年 <u>12</u>	5	29	千葉県いすみ市	豊岡市をモデルに「自然と共生する里づくり連絡協議会」設立 2013年から無農薬米栽培開始、2014年4月コウノトリ飛来
2013	平成25年 <u>11</u>	3	10	JA全中、NHK共 催	喜多方市小学校農業科、JAたじま「コウノトリ育むお米が結ぶ消費者との交流」活 動が第42回 日本農業賞 食の架け橋賞「大賞」を受賞
2015	平成27年 <u>9</u>	7	23	コウノトリ	千葉県、野田市で全国で2番目のコウノトリ放鳥(3羽)
		9	3	コウノトリ	韓国初のコウノトリ放鳥(8羽)
2017	平成29年 <u>7</u>	10		千葉県いすみ市	市内学校給食での全量有機米が実現
2021	令和3年 <u>3</u>	5	12	農水省	「みどりの食料システム戦略」策定 ・化学農薬の使用量(リスク換算)を50%低減 ・輸入原料や化石燃料を原料とした化学肥料の使用量を30%低減 ・耕地面積に占める有機農業の取組面積の割合を25%(100万ha)に拡大

## ②全農の「田んぼの生きもの調査」実績



年度	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	計
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
県本部			6	11	11	2	6	5	6	6	4	4	1	1	1	2	66
本所			1	1	3	6	6	5	4	6	5	3	2	1	1	2	46
JA			1	1	3	32	28	30	31	34	40	29	15	15	20	23	302
生協等			3	17	18	11	12	13	15	15	10	11	2	3	5	10	145
学校			3	3	10	5	6	7	7	12	14	13	6	12	20	5	123
その他	47	46	1	3	0	3	2	7	5	5	10	5	2	3	4	10	153
計 A	47	46	15	36	45	59	60	67	68	78	83	65	28	35	51	52	835
のべ参加 人数 B	2,225	1,511	739	1,350	2,149	2,892	3,192	3,522	3,596	4,202	4,027	3,486	872	1,073	1,740	2,235	38,811

(単位:回、人)

### ③ 「生きものの調査」に必要なもの



#### 日用品で生きものの調査！



##### 金魚アミ

生きものの捕獲や、土の中の生きもの調べて土を洗い流す時に使う



##### 調味料入れ

片手で開閉できるため、生きものの捕獲に便利。水生昆虫の観察にも



##### 虫かご

カエルやバッタなど、跳ぶ生きものを捕獲し、観察する時に使う



##### バット

少し水を入れ、水の中の生きものを観察する。白いものを数枚用意



##### ルーペ

小さな生きものを観察する時に。5倍程度のものが使いやすい



##### バケツ

水のくみ置きや、調査後、水生昆虫や魚類を放す前に入れておく



##### 捕虫アミ

トンボやバッタなどを捕まえる。長すぎると扱いにくいので注意



##### 移植ごて

土の中の生きものを調べる時に、田んぼの土を取るために使用する

※小冊子「さあ、はじめよう！ 田んぼの生きもの調査～「農」が支えるたくさんのいのち」参照

# ④ 「生きものの調査」に便利なもの



- ・「虫見板」(農と自然の研究所)
- ・「ポケット版 田んぼの生きもの図鑑 動物編」「同 植物編」(農文協)
- ・「田んぼのめぐみ150」(農文協)

農文協農業書センター: 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-1-6 日建ビル2F  
TEL: 03-6261-4760 book@mail.ruralnet.or.jp

# ●実施画像



JAかながわ西湘



JAあつぎ

# ⑤生きものの調査と農業体験はナニが違う？



	田植え、稲刈り、草取り	生きものの調査
関係	作る(農)⇔食べる(食)	作る(農)⇔食べる(食)⇔育む(環境)
見方	人間中心 	生きものの視点 
範囲	田んぼ	田んぼと周辺的环境まで視野が広がる 
感じ方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業はたいへんだ</li> <li>・農家への感謝</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業は面白い！</li> <li>・自然への感謝</li> </ul>

# ⑥ 田んぼは、生きものもヒトもはぐくむ



農の持続的な営みが生きものをはぐくんでいる



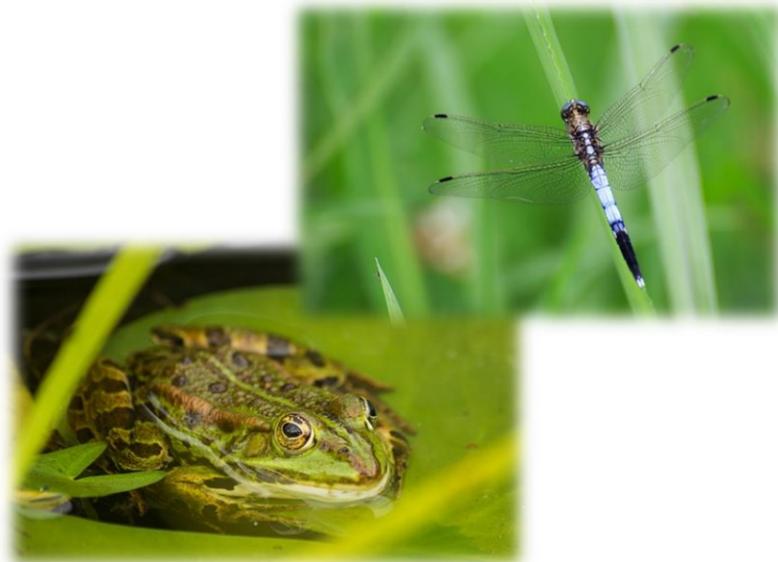
【農】

田んぼでお米を栽培



【食】

田んぼで作ったお米を、ヒトが食べて生きる



【環境】

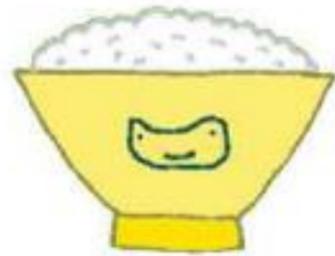
田んぼはたくさんの生きものが棲むところ

⑦ 「生きものの調査」で、ごはん一杯の意味を知る。



絵の式の見方

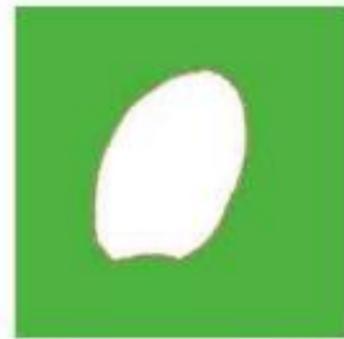
ごはん



1杯

=

米粒



3000~4000粒

=

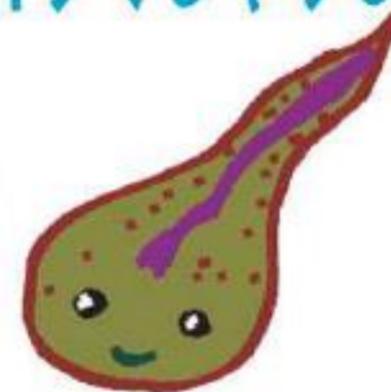
稲株



3株

=

オタマジャクシ



35匹

生きものもごはんも田んぼのめぐみ

データは、2001年の全国調査の平均値です

稲3株分(0.15m<sup>2</sup>)の田んぼで、オタマジャクシは35匹育っています

農と自然の研究所

全農

## ⑧ 「生きもの調査」 参加者の声



### ●大人の反応

#### ◆保護者

大人でも、田んぼに触れた原体験がないため、子どもたちと同じ反応。

#### ◆おじいちゃん

「父親が、うまく虫を捕まえられないので、私が捕えてやったら孫から「じいじ、すごい！」とたいへん尊敬されました！」

#### ◆農家

「30年ぶりにタイコウチを見た。自分はいままで何を見ていたのだろうか・・・」(©宇根豊)



# ⑨ 「生きもの調査」の効果、ひろがり



## ●生産者

地域を支える誇り、やりがい

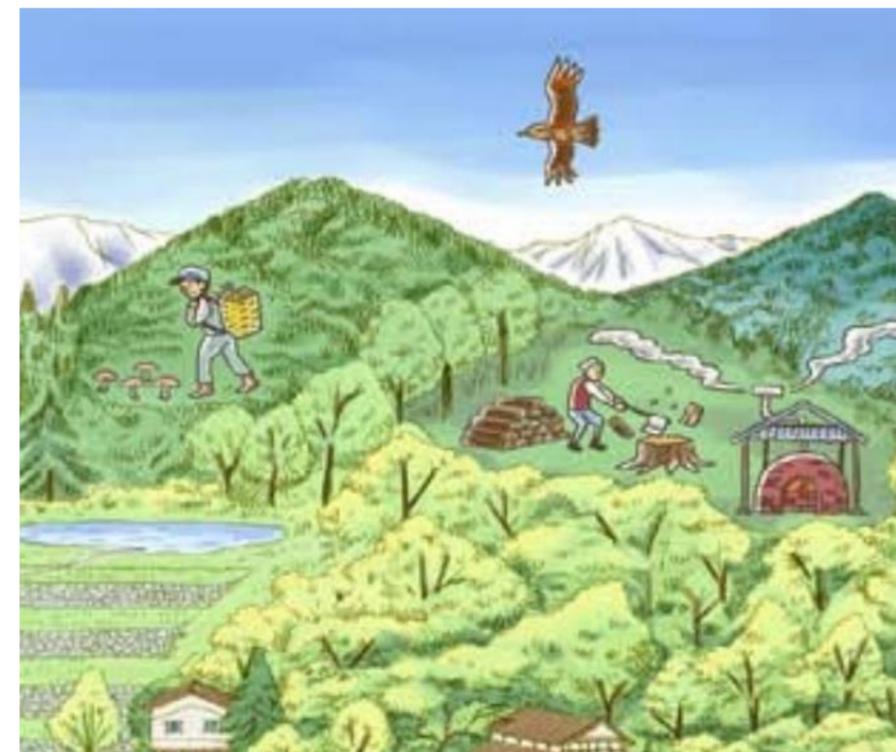
## ●消費者

食べて支える

第二のふるさと、関係人口

## ●子どもたち

農業は面白い、地方移住、農ある暮らし



## ■政策への反映

みどり戦略、生物多様性戦略

環境直接支払い



# (参考) 全農「田んぼの生きもの調査」X (旧Twitter)

全農広報部 田んぼの生きもの調査  
@tanbozenoh

#田んぼの生きもの調査

新潟県佐渡市では、江（え）と呼ばれる、常時水を湛える溝を作り生きもの達の避難地としていますが、これらも結局は人の手で管理しなければなりません。高齢化で田んぼの集約化がすすむと、そうした作業も当然ながら請け負う農家に集中します。

#食と農を未来へつなぐ #全農



午前6:24 · 2022年9月27日 · MarketingSuite

19件のリツイート 1件の引用ツイート 127件のいいね

全農広報部 田んぼの生きもの調査  
@tanbozenoh

#田んぼの生きもの調査

ところで、人が歩いたあとは、穴ができますが、これが役に立つ場合があるのです。夏は田んぼの水もお風呂のように熱くなります。が、窪みは冷たいのです。するとカエルがそこに入って暑さを凌ぐのだそうです（「うねゆたかの田んぼの絵本」）

#食と農を未来へつなぐ #全農



午前6:17 · 2022年9月12日 · MarketingSuite

21件のリツイート 2件の引用ツイート 146件のいいね

全農広報部 田んぼの生きもの調査  
@tanbozenoh

#田んぼの生きもの調査

◆田んぼの生きもの紹介編【ケラ（蟻蛄）】どこかユーモラスで子供たちにも人気です。前脚が土を掘るようシャベル状なのはモグラに似てますね。田んぼの浅いところにトンネルを掘り生活しており、雑食で、植物の根っこやミミズなどを食べます。

#食と農を未来へつなぐ #全農



午前6:31 · 2022年8月19日 · MarketingSuite

15件のリツイート 2件の引用ツイート 139件のいいね

全農広報部 田んぼの生きもの調査  
Xアカウント



全農広報部 田んぼの生きもの調査  
@tanbozenoh

#田んぼの生きもの調査 in神奈川県 🍊

【開催報告1】  
6月26日（日）、神奈川県小田原市で生きもの調査を実施!!  
天気は快晴☀️9組24名の親子が参加してくれました😊  
使用する道具の説明を受けて生きもの調査へ出発～!

#全農 #食と農を未来へつなぐ #JA全農かながわ



午後7:12 · 2022年6月26日 · MarketingSuite

6件のリツイート 31件のいいね

全農広報部 田んぼの生きもの調査  
@tanbozenoh

#田んぼの生きもの調査 in神奈川県 🍊

【開催報告2】  
田んぼに入る前に、小さな生きものを見逃さないよう、畦から水路や田んぼをじっくり見て目を慣らしませす!!  
裸足やくつ下のまま田んぼに足を入れて生きもの調査スタート!!

#全農 #食と農を未来へつなぐ #JA全農かながわ



午後7:16 · 2022年6月26日 · MarketingSuite

6件のリツイート 53件のいいね

全農広報部 田んぼの生きもの調査  
@tanbozenoh

#田んぼの生きもの調査 in神奈川県 🍊

【開催報告3】  
見つけた生きものを観察するため、泥で濁った水を綺麗にします🌈  
どんな生きものがいたかな👀🎵  
ガムシの幼虫、オタマジャクシ、ウマビル...  
ハウネンエビが人気でした! 😊

#全農 #食と農を未来へつなぐ #JA全農かながわ



午後7:31 · 2022年6月26日 · MarketingSuite

5件のリツイート 62件のいいね

全農広報部 田んぼの生きもの調査  
@tanbozenoh

#田んぼの生きもの調査 in神奈川県 🍊

【開催報告4】  
本日の生きもの調査は終了🎉今回は20種類の生きものが見つかりました😊🌟  
これからもいっぱいお米を食べてくださいね🍚🌾🍷

#全農 #食と農を未来へつなぐ #JA全農かながわ



午後7:47 · 2022年6月26日 · MarketingSuite

6件のリツイート 57件のいいね



ご清聴ありがとうございました

